

1 教科目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

2 評価の観点及びその趣旨

(1) 美術への関心・意欲・態度

美術の創造活動の喜びを味わい、表現や鑑賞の能力を高めるために、主体的に学習に取り組もうとしている。

(2) 発想や構想の能力

感性や想像力を働かせて、対象を深く見詰め、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能などを基に独創的で豊かな発想をし、形や色彩などの効果を生かし、心豊かで創造的な表現の構想を練っている。

(3) 創造的な技能

感性や造形感覚などを働かせて、材料や用具の特性を生かし、表現意図に合う新たな表現方法を工夫したり、制作の順序などを総合的に考えたりするなどし、創造工夫して創造的に表している。

(4) 鑑賞の能力

感性や想像力を働かせて、造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などを感じ取り味わったり、生活を美しく豊かにする美術の働きや美術文化などについての理解や見方を深めたりしている。

3 各学年の目標

(1) 主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。

(2) 対象を見つめ感じ取る力や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する能力を伸ばす。

(3) 造形、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心をもち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を育てる。

4 指導計画・評価計画表

表中の記号・・・【関】：美術への関心・意欲・態度 【発】：発想や構想の能力 【技】：創造的な技能 【鑑】：鑑賞の能力

月	指導計画	評価規準	評価方法
4	<p>鑑賞 教科書美術館（1） ○今まで使用してきた、美術の教科書の様々な作品を鑑賞し、その中から、自分の気に入った作品を選び、その理由も記述することにより、美術に対する関心を高めていく。</p>	<p>【関】：感じ取ったことを記入する活動に関心を持とうとしている。「美術とは何か」を自分なりに考えようとしている。</p> <p>【鑑】：作品や作者の言葉から感じ取ったことから、美術のもつ様々な意義について理解している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子の観察 ・作品制作の過程 ・完成作品

5	<p>表現 手のデッサン (1) ○自分の手を、スケッチの基本的技法や、用具の基本的な使い方を習得し、鉛筆の特性を理解しデッサンする。また、作品鑑賞のついでの基本も学習する。</p>	<p>【関】：意欲的に制作に取り組んでいる。 【発】：身近なものを見つめ、表現の構想を練っている。 【技】：材料や用具の生かし方を考え、工夫して表している。 【鑑】：お互いの作品を鑑賞し、意図や工夫した点について、自分の価値意識を深めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子の観察 ・作品制作の過程 ・完成作品
6	<p>表現 銘々皿のモザイク模様(5) ○銘々皿を裁断したトータルカラーを美しさを考えて貼り、作品を完成させる。</p>	<p>【関】：意欲的に制作に取り組んでいる。 【発】：トータルカラーの特性を考え、美しさを考えて作品を制作している。 【技】：モザイク模様の構成を考え美しく貼付している。 【鑑】：お互いの作品を鑑賞し、意図や副牛他店について、自分の価値意識を高めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子の観察 ・作品制作の過程 ・作品完成
7	<p>表現 靴のある風景 (13) ○長年使用してきた体育館履き。その体育館履きをモチーフにした創造画を制作する。自分の好きな事やもの、空想の世界を広げて表現する。</p> <p>表現 太陽のイラスト(1) ○太陽を表現するとき、様々な表現方法があることを知り、オリジナルの太陽を点描で表現する。</p>	<p>【関】 集中して制作を行っている。 【発】 美しくアイデアスケッチをし、アイデアを生かした作品を制作する。 【技】 特徴的なデザインで美しく表現している。 【鑑】 作品についての美しさに対する意見をしっかりと持つ。</p> <p>【関】 表現活動に意欲的に取り組んでいる。 【発】 自分の経験や体験を生かし、それらの物事をオリジナルの発想で表現することができる。 【技】 体育館履きのデッサン等も含め、鉛筆での表現方法を工夫し、理解したうえで表現している。 【鑑】 自分の作品に対し、しっかりとしたイメージを持ち感想を記入することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・授業の様子の観察 ・完成作品 <ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子の観察 ・ワークシート ・作品制作の過程 ・完成作品
8	<p>鑑賞 信仰から発展した美術 (2) ・仏像レポート (宿題) ○二学期の修学旅行を控え、日本の伝統美術について学ぶ。京都・奈良の代表的な寺社仏閣や仏像の歴史・建築方法・制作方法を知り、日本の美に関心を持つとともに自らの表現の工夫にも繋げていく。</p>	<p>【関】 意欲的に考え取り組んでいる。 【鑑】 鑑賞で学んだことを、修学旅行でしっかりと鑑賞できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・授業の様子の観察 ・小テスト ・定期テスト
9			

1 0	<p>表現 石を彫ってつくろう ～篆刻の制作～（15） ○篆刻という伝統的な技法を用い、自分の独自の発想による文字のデザインを考案して自分らしい印を制作する。篆刻の歴史も学び、美術工芸品としての篆刻の味わい深さも同時に学ぶ。</p>	<p>【関】 使用方法を守り、安全に制作に取り組んでいる。 【発】 美しくアイデアスケッチをし、高麗石の特性を生かした作品を制作している。 【技】 高麗石の特性を生かし、美しく制作している。 【関】 自分の作品や他の作品の良さを捉えられている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子の観察 ・ワークシート ・作品制作の過程 ・完成作品
1 1	<p>○印面だけでなく、持ち手部分も抽象彫刻として彫造する。</p>	<p>【関】 日本の伝統美術に関心を持つようとし、また、自己の表現に活かそうとしている。 【鑑】 日本の伝統美術に触れ、日本の美の源流を知ろうとしている。</p>	
1 2			
1		<p>【関】 石を刻んで作品を作るという制作活動や印の歴史について関心を持つようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子の観察 ・ワークシート
2		<p>【発】 石を彫るという作業の特殊性を考慮しながら、文字としてのデザイン性も考えて構想を練っている。 【技】 石を刻み、文字を彫る技術方法を理解し、材料や用具の特性を生かして表現を工夫している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・作品制作の過程 ・完成作品
3		<p>【鑑】 印の歴史や社会での使われ方を知り、表現の工夫について見方を深めている。</p>	